

## 奥野美和 ダンスインスタレーション B/O/N/E

2016/1/30 (土) 1/31 (日)、月島TEMPORARY CONTEMPORARYにて  
東京藝術大学大学院在籍 (先端芸術表現専攻) のダンサー/振付家/映像作家の奥野美和が  
“身体の動作”から得た「モノの見方」を提示する新作を発表

2015年12月8日 (火)

ダンサー/振付家/映像作家として活動を行う奥野美和が、このたび東京・月島のギャラリー「TEMPORARY CONTEMPORARY」にてダンスインスタレーション「B/O/N/E」を発表いたします。  
奥野は2013年横浜ダンスコレクションEXにて2つの賞を同時に受賞後、ヨーロッパ、アジア、南米と国内外各地で作品を発表しながら、現在、東京藝術大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻に在籍し、“映像と身体表現による空間の創出”を行っております。

動作における「骨と肉の関係」をテーマにした本作は、身体表現を探求する過程で奥野が得た「ひとつの物事は要素に分解することでその本質が浮き彫りになる」というモノの見方を、パフォーマンスを通して提示するものです。

2015年10月の「韓国国際ダンスフェスティバルSIDance」での初演を経て、今回の会場となるギャラリー空間に向け、さらに内容を再構築しております。

ダンスの枠を超えた、身体表現、映像、音響、ファッションの分野から構成された総合的な“ダンス美術作品”を、ぜひ会場でご体感ください。

### 【公演概要】

公演名：奥野美和ダンスインスタレーション「B/O/N/E～骨と肉と、その間～」  
日時：2016年1月30日 (土) 18:00開演、1月31日 (日) 16:00開演 ※開場は開演の30分前  
料金：前売2,700円/当日3,000円  
チケット予約：www.miwaokuno.com/tickets/  
会場：月島TEMPORARY CONTEMPORARY  
お問合せ：nk.info.jp@gmail.com  
ウェブサイト：<http://miwaokuno-bone.tumblr.com>



## 【作品Review】

「B/O/N/E」は、体の関節の動きの可能性を探る作品であり、同時にそれを転移、分離、混乱、分解する動きの限界を探求する。

唯一このパフォーマーだけが、その混沌とした手法を用いつつも、同時に独自の審美的な美しさでそれを見出す方法を身につけている。

—ナタリア・メディナ（インターナショナルダンスフェスティバルMASDANZA [スペイン] ディレクター）

"B/O/N/E" is a work of investigation on the possibilities of movement of an articulated body, and at the same time of the capacity to dislocate it, separate it, disorganize it and decompose it. Only this performer has this capacity, which she gets in a chaotic way, but at the same time with a unique aesthetic beauty.

—Natalia Medina (Director MASDANZA, The International Contemporary Dance Festival of The Canary Islands [SPAIN])

## 【プロフィール】

奥野美和（構成／振付／映像／出演）

[www.miwaokuno.com](http://www.miwaokuno.com)

ダンサー／振付家／映像作家

2007年より北村明子率いるLeni-Bassoに参加し国内外で活動後、2009年よりソロ活動を開始。

映像作家や写真家など各分野のアーティストとのコラボレーションの経験をきっかけに、【自分では無い物質へ変貌と同化をする身体表現】に興味をもち、それらを具体化するために実写映像の編集／構成を自ら手掛け、身体、映像、音響を扱う総合的な空間芸術創りを開始する。

2013年、映像とダンスを掛け合わせた作品「ハイライトオブ ディクライン」は横浜ダンスコレクションEXにて「若手振付家のための在日フランス大使館賞」「MASDANZA賞」をW受賞し渡仏。半年間のフランス滞在中、スペインのインターナショナルダンスコンペティション MASDANZA18では「審査員賞-Jury Prize best of solo-」受賞し、現在までに、日本、スペイン、パナマ、シンガポール、マレーシアの5カ国にて計13回の再演を行う。

2014年、シンガポールのT.H.E dance companyに招聘され、マレーシア人ダンサーとの共同制作作品「The Body Speaks」の振付と映像を担当。

2015年春より東京藝術大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻に入学し、映像と身体表現を使用した空間創りの研究を本格的に行う。

同年10月にソウルインターナショナルダンスフェスティバルSIDanceにて本作「B/O/N/E」を発表。

現在、母校の大東文化大学モダンダンス部の監督として在籍中。



## 【受賞歴】

2013/2 横浜ダンスコレクションEX2013「若手振付家のための在日フランス大使館賞」「MASDANZA賞」

2013/10 MASDANZA18（スペイン・カナリア諸島）「審査員賞-Jury Prize best of solo-」

**清水千晶 (衣装)**

東京藝術大学美術学部デザイン学科を経て、2002年同大学大学院修士課程修了。LEDなどを使用したメディアアートを研究。

在籍中に鷺田清一氏の著書『ちぐはぐな身体』（ちくま文庫）に感銘を受け、卒業後、ファッションの道を志ざし渡英。London Fashion for Studiesにてパターンカッティングや立体裁断を学ぶ。

2年間の英国滞在後、帰国。2007年～2011年、パリのfashion weekにて毎シーズン参加。同時にフリーのテキスタイルプリントデザイナー、衣装デザイナーとして活動。

2014年度より、東京藝術大学大学院博士後期課程に在籍。「空間とファッション」をテーマとし、ファッションを独自の経験と視点で研究するかたわら、デザイナーとしても活動している。

今回の作品では、骨と衣装がどのように溶け合うかを熟考し、透ける素材から感じられるダンサーの肉体と、生地に施した背骨を髣髴とさせるテクスチャーとの一体感を追求した。

**藤代洋平 (音楽)**

幼少期からLEGOで創作活動を始める。

その時の感覚のまま絵画や映像、立体などを造り続けている。Evelyn Glennieに衝撃を受けてから音楽を造りはじめる。

体験したことのない感覚を求め、創作活動中。

**【関連企画】**

「B/O/N/E～EXHIBITION～」

本公演に関連する作品展示・販売、開演前のリハーサル公開を行っております（入場無料）。

日時：1月30日（土）14:00-20:00、1月31日（日）12:00-18:00

※1月30日17:30-19:00、1月31日15:30-17:00は公演のためCLOSE

**【出演・スタッフ】**

構成・振付・映像・出演：奥野美和

音楽・音響：藤代洋平

衣装：清水千晶

舞台監督：福島奈央花

映像技術：VIDEOART CENTER Tokyo

宣伝美術・展示構成：矢野純子

物販デザイン協力：伊藤圭衣

企画・運営：N//K

協力：TEMPORARY CONTEMPORARY

本リリースに関するお問い合わせ

【広報担当】 大友 (N//K) [nk.info.jp@gmail.com](mailto:nk.info.jp@gmail.com)